

○沿革の概要

平成 6年 4月 1日	古江・秋鹿・大野三中学校の統合により湖北中学校新設
4月 2日	湖北中学校 PTA 結成
4月 8日	開校式挙行
9月 2日	プール新設
平成 8年 2月	自転車車庫, 車輪止め設置
平成 9年 7月	3階普通教室に冷暖房設置
平成11年10月19日	松江市教育研究大会会場校, 授業発表
平成13年 2月15日	松江市教育委員会指定, 同和教育研究発表会
平成15年11月11日	開校10周年記念式典
平成17年 3月	島根県児童生徒学芸顕彰受賞 島根県 PTA 人権・同和教育「PTA 活動」育成事業紙上発表
平成21年10月	島根県教育研究大会で特別活動を授業発表
平成22年12月	島根県中学校体育連盟, 岸記念賞「敢闘賞」受賞
平成24年11月	松江市教育研究大会 (A ブロック研究大会) 兼湖北白鳥学園小中一貫教育実践発表会 会場校, 授業発表
平成25年 3月	女子卓球部 全国選抜大会出場
平成25年 8月	男子卓球部 全国大会出場 決勝トーナメント進出 優秀13校表彰
8・9月	エアコン更新工事
10月19日	開校20周年記念式典・コンサート
平成28年 8月	男子バスケットボール部 中国大会準優勝 全国大会出場
令和 2年11月	松江市教育研究大会 (A ブロック研究大会) 会場校 授業発表
令和 3年 3月	男子卓球部 全国選抜大会出場
令和 4年11月	島根県教育委員会「優れた教育活動」表彰 受賞

○校区の概要

1 地区の特色

古江, 秋鹿, 大野の3地区からなる。古江地区は, 北は宍道湖に面し, 佐陀川流域平野部と標高 342m の朝日山を分水嶺として南面する丘陵地帯に分かれる。

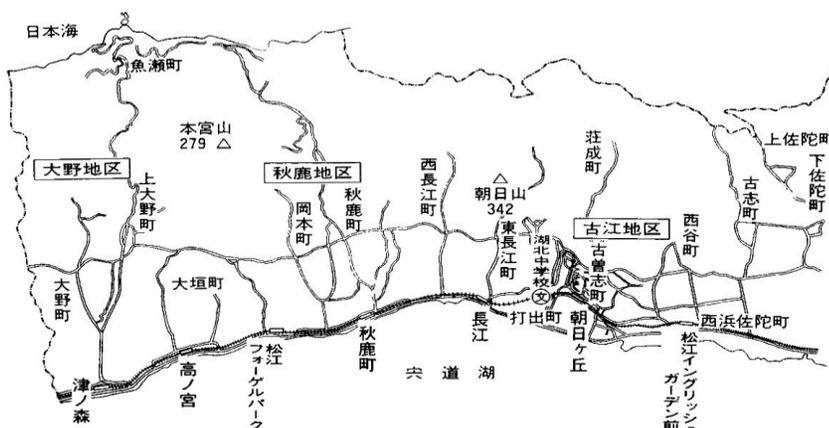
秋鹿, 大野地区は, 北は日本海, 南は宍道湖に面している。火成岩からなる本宮山 (279m) は鎌倉時代から戦国時代にかけての城地であったといわれる。産業は, 農林漁業が主体で副業としての柿, 茶, 野菜の他水産物も豊富である。近年は兼業による農業が多くなっている。秋鹿, 大野地区は古くから清酒醸造に携わる杜氏が多いことも特色である。

2 校区の特色

本校は, 平成6年4月1日に, 古江中・秋鹿中・大野中の3中学校が統合されて誕生した中学校である。

校区内には, 古江小・秋鹿小・大野小の3校の小学校があり, 松江市内の中学校の中でも比較的校区が広い。そのため, 全校生徒の中で, 通学時に自転車を利用する生徒, 電車・バス等を利用する生徒の占める人数の割合が比較的大きいのも本校の特色である。

3 校区概略図



○松江市の特色ある教育プラン

- 1 確かな学力を育成するための教育の推進
- 2 豊かな人間性を育成するための教育の推進
- 3 児童生徒の健康と体力を増進するための教育の推進
- 4 松江市の特色を生かした教育の推進

○生徒数の移り変わり (4月1日現在)

年	平成29	平成30	令和元
合計	186	169	177
令和2	令和3	令和4	令和5
177	184	180	171

○校章について



本校の校章は, 若者が恵まれた自然の中で豊かな心を持ち, たくましく育っていく願いを新芽 (双葉) の成長する様子に託して表現したものである。無限大記号と鉛筆形をその中に組み合わせることによって限りない可能性と, 自ら学ぶ意欲をもあわせシンボル化した。

全体は「中学校」の「中」の文字と若鳥が大空へ羽ばたく姿をイメージさせ, 上部への方向性は「湖北」の「北」と学校の発展を示している。